

やまぐち自然共生ニュース

No. 6

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、すばらしい自然環境を後世に伝えていきます。

秋吉台の山焼き -最高のイベント-

秋吉台は、草原の自然公園として、阿蘇山と共に有名だ。日本の自然公園の解説書では、秋吉台の草原は「半自然」となっている。原生林は人の手が加わらない森林だが、草原は自然植生ではなく、人が手を加えて作り出された植生である。とはいっても、秋吉台の草原は人が山を焼くが、あとは自然に放置され、「極相の草原（もうこれ以上変化しない究極の草原）」になっている。極相と言っても、主体は「ネザサ」で、60年とか80年に一度開花結実して枯れる。この前のネザサの開花は昭和45年にあり、ほとんどのネザサは枯れた。このとき、主体はネザサに代わって、チガヤやススキが広がり、草原の様子は一変した。

秋吉台では、毎年、2月の第3日曜日に「山焼き」が行われてきた。しかし、この季節は雨の日が多く、焼けないことが多かった。今年は、2月15日（日）に一発で実施でき、関係者は胸をなでおろした。

山に火が放たれると風にあおられて燃える。パチパチというササのはぜる音が台地に響く。また、草の焼ける匂いが鼻をつき、焼けた草の葉の炭が舞い上がり目に入る。

昔は、田や畑で作物を作るのに草を利用した。草を堆肥にして田に入れると、作物はとてよく実をつけた。だから、農家の人は周囲の山を草原にして、たくさんの堆肥を作った。江戸時代には、秋吉台を「千鞍台」と呼び、草がたくさん取れるところとして知られていた。

秋吉台の草原はいつ頃からできたのか、議論的になっている。奈良の都では、奈良時代には草原が広がり、貴族たちが遊んでいる。その様子は、万葉集に残されている。秋吉台では長登銅山があり、早くから採鉱が始まった。銅を取るにはたくさんの炭を必要としたが、秋吉台が森林であれば炭焼きが行われたことだろう。ひょっとすると、秋吉台は奈良時代から草原になっていたかもしれない。現在、洞窟にある鍾乳石の研究から、台上の草原ができた年代を科学的に探求する研究が九州大学で進められている。どんな結論が出るか、興味深い。



3月の行事予定

3月		行 事 名	場 所 ・ 時 間 等	連 絡 先
1	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
1	日	第59回「講演会」 演題「緑で心のマッサージ」 講師 足立龍次 (足立氏は「画文集 野の花ハイキング」などの本を自費出版され、「周南市緑地公園」の樹木の観察会を指導されたり、植物の絵の個展も開かれるなどなど、多彩な才能に長けた方です。彼のユーモア溢れる楽しい講演をぜひお聞きください)	定員:60名 時間:13:30～16:30 受付は13時から 場所:山口県セミナーパーク 一般研修棟2階の研修室205 参加費:無料 申込期限:2月28日(土)	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降
8	日	秋吉台自然歩道の修復 (雨水の通り道となり表土が流れ壊れた秋吉台自然歩道の修復を行います)	時間:9:00 旧秋吉台管理事務所に集合	秋吉台パークボランティアの会 (0837-62-0640)
15	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
15	日	県民協働型自然共生推進事業 体験発表会 詳細は最終ページ参照	時間:10:30～16:00 場所:山口県セミナーパーク	(財)山口県ひとづくり財団環境学習推進センター (083-987-1110)
22	日	やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪 山焼き後の秋吉台とタヌキ穴 (山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪するとともに、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行います) 詳細は次ページ参照	定員:30名 時間:13:00～15:00 場所:秋吉台科学博物館 参加料:500円(個人会員は250円、団体会員は2人まで250円)	やまぐち自然共生ネットワーク または山口県自然保護課
29	日	自然観察会「県指定天然記念物 ヒゼンマユミ等(下関市蓋井島)」 申込期限:3月25日(水)	定員:28名 時間:7:00に萩市中央公園 駐車場トイレ付近に集合 参加費:3,500円(バス・保険代等)(船賃990円は別払い)	山口県自然観察指導員協議会 第6支部長 永井要明 (090-8240-9785)
29	日	白石山の観察会 (「白石山:540m」は全山に大小の奇岩・巨岩が散在する旧徳地町(山口市)の名勝に指定されていた山で、山頂近くには「白石観世音」を祀った観音岩などが在り、信仰の山でもあります) 申込期限:3月28日(土)	時間:9:30～15:00ぐらい 9:30に山口市徳地掘にある「出雲神社」前に集合 参加費:500円(18歳未満は無料) 持参物:弁当、水筒、山歩きができる服装と靴、カメラなど	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降

ネットワークホームページには、各市町などが主催する行事も掲載しています。

～やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪～

「山焼き後の秋吉台とタヌキ穴」を開催します。

地域の自然や人と自然との関わりを知り、参加者相互の交流を深めるために、「自然観察会」を下記により開催します。

と き：平成21年3月22日（日）13:00～15:30

ところ：秋吉台科学博物館（美祢市秋芳町秋吉 0837-62-0640）

内 容：山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪し、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行うとともに、参加者相互の交流を深めるための意見交換会を行ないます。（ガイドは、庫本会長が行います）

定 員：30名（申し込み先着順）

申込先：3月18日（水）までに県自然保護課へ申し込んでください。

参加費：参加費500円（保険代等）

ネットワーク個人会員は250円、団体会員は2名まで250円

その他：飲み物は各自持参。炭がついてもよい服装。



情報コーナー

「県民協働型自然共生手作り事業体験発表会」の開催について

県自然保護課・環境学習推進センターが実施している県民協働型自然共生手づくり事業の体験発表会が開催されます。体験発表会では、採択団体による活動報告のほか、写真家 戸塚 学氏による講演会「楽しいから続けられる、楽しいから受け継がれること」と題した講演会も開催されます。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日 時：3月15日(日) 10:30～15:40(午前講演、午後発表会)

場 所：山口県セミナーパーク 研修室102

定員等：90名(先着順) 参加申込期限：3月13日(金)

申込先：環境学習推進センター (住所、氏名、電話番号を連絡)

(電話 083-987-1110、FAX 083-987-1720、E-mail kankyo.c@hito21.jp)

戸塚 学(とづか がく) 氏プロフィール

1966年 愛知県生まれ

高校3年生の時写真に興味を持ち、幼少の頃から好きだった自然風景や野生の生き物を被写体として撮影する。20歳の時、アカゲラを偶然撮影できたことから、野鳥の撮影にのめり込む。31歳の時、写真家として独立。現在、野鳥などの生き物を含めた環境の撮影をしている。作品は雑誌、機関紙、書籍、カレンダー、コマーシャルなどに多数発表。

著書に「鳥たちは今日も元気に生きています!」などがある。日本野鳥の会会員、西三河野鳥の会会員、NPO法人希少生物研究会会員 <http://homepage2.nifty.com/happybirdsdays/index.html>



体験発表団体の概要(丸ゴシック体はネットワーク会員)

団体名	事業概要
山口県自然観察指導員協議会	県天然記念物ヒゼンマユミ群落自生地の保全
秋吉台パークボランティアの会	秋吉台裸地(歩道)の修復と緑化
榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会	榎野川河口干潟及び源流域(四季の森)の保全
山口山岳会	十種ヶ峰ヤマシャク自生地の保全活動
カキツバタを守る会	二反田ため池の環境整備
YSCエコクラブ	「榎野川野鳥の森」環境整備
琴石水車の里保存会	琴石水車の里の環境整備
NPO法人しぜんとあそびたい	長門市油谷赤屋地区の共生の森づくり
和木町林業研究会	遊歩道の保全と活用及び里山(和みの里)の再生
らんかん高原活性化協議会	らんかん高原の湿性植物群落の保全

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

ご連絡いただいた情報は、情報誌「ニュース」、機関誌「共生」、またはホームページに掲載し、会員のみみなさまに情報として提供します。

〔事務局〕〒753-0811 山口市吉敷上東二丁目4番5-201 田中 浩(090-7971-6843)

〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修(083-933-3060)

E-mail h-tanaka43@nifty.com URL <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>

やまぐち自然共生ニュース

No. 6

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、すばらしい自然環境を後世に伝えていきます。

秋吉台の山焼き -最高のイベント-

秋吉台は、草原の自然公園として、阿蘇山と共に有名だ。日本の自然公園の解説書では、秋吉台の草原は「半自然」となっている。原生林は人の手が加わらない森林だが、草原は自然植生ではなく、人が手を加えて作り出された植生である。とはいっても、秋吉台の草原は人が山を焼くが、あとは自然に放置され、「極相の草原（もうこれ以上変化しない究極の草原）」になっている。極相と言っても、主体は「ネザサ」で、60年とか80年に一度開花結実して枯れる。この前のネザサの開花は昭和45年にあり、ほとんどのネザサは枯れた。このとき、主体はネザサに代わって、チガヤやススキが広がり、草原の様子は一変した。

秋吉台では、毎年、2月の第3日曜日に「山焼き」が行われてきた。しかし、この季節は雨の日が多く、焼けないことが多かった。今年は、2月15日（日）に一発で実施でき、関係者は胸をなでおろした。

山に火が放たれると風にあおられて燃える。パチパチというササのはぜる音が台地に響く。また、草の焼ける匂いが鼻をつき、焼けた草の葉の炭が舞い上がり目に入る。

昔は、田や畑で作物を作るのに草を利用した。草を堆肥にして田に入れると、作物はとてよく実をつけた。だから、農家の人は周囲の山を草原にして、たくさんの堆肥を作った。江戸時代には、秋吉台を「千鞍台」と呼び、草がたくさん取れるところとして知られていた。

秋吉台の草原はいつ頃からできたのか、議論的になっている。奈良の都では、奈良時代には草原が広がり、貴族たちが遊んでいる。その様子は、万葉集に残されている。秋吉台では長登銅山があり、早くから採鉱が始まった。銅を取るにはたくさんの炭を必要としたが、秋吉台が森林であれば炭焼きが行われたことだろう。ひょっとすると、秋吉台は奈良時代から草原になっていたかもしれない。現在、洞窟にある鍾乳石の研究から、台上の草原ができた年代を科学的に探求する研究が九州大学で進められている。どんな結論が出るか、興味深い。



3月の行事予定

3月		行 事 名	場 所 ・ 時 間 等	連 絡 先
1	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
1	日	第59回「講演会」 演題「緑で心のマッサージ」 講師 足立龍次 (足立氏は「画文集 野の花ハイキング」などの本を自費出版され、「周南市緑地公園」の樹木の観察会を指導されたり、植物の絵の個展も開かれるなどなど、多彩な才能に長けた方です。彼のユーモア溢れる楽しい講演をぜひお聞きください)	定員:60名 時間:13:30～16:30 受付は13時から 場所:山口県セミナーパーク 一般研修棟2階の研修室205 参加費:無料 申込期限:2月28日(土)	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降
8	日	秋吉台自然歩道の修復 (雨水の通り道となり表土が流れ壊れた秋吉台自然歩道の修復を行います)	時間:9:00 旧秋吉台管理事務所に集合	秋吉台パークボランティアの会 (0837-62-0640)
15	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
15	日	県民協働型自然共生推進事業 体験発表会 詳細は最終ページ参照	時間:10:30～16:00 場所:山口県セミナーパーク	(財)山口県ひとづくり財団環境学習推進センター (083-987-1110)
22	日	やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪 山焼き後の秋吉台とタヌキ穴 (山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪するとともに、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行います) 詳細は次ページ参照	定員:30名 時間:13:00～15:00 場所:秋吉台科学博物館 参加料:500円(個人会員は250円、団体会員は2人まで250円)	やまぐち自然共生ネットワーク または山口県自然保護課
29	日	自然観察会「県指定天然記念物 ヒゼンマユミ等(下関市蓋井島)」 申込期限:3月25日(水)	定員:28名 時間:7:00に萩市中央公園 駐車場トイレ付近に集合 参加費:3,500円(バス・保険代等)(船賃990円は別払い)	山口県自然観察指導員協議会 第6支部長 永井要明 (090-8240-9785)
29	日	白石山の観察会 (「白石山:540m」は全山に大小の奇岩・巨岩が散在する旧徳地町(山口市)の名勝に指定されていた山で、山頂近くには「白石観世音」を祀った観音岩などが在り、信仰の山でもあります) 申込期限:3月28日(土)	時間:9:30～15:00くらい 9:30に山口市徳地掘にある「出雲神社」前に集合 参加費:500円(18歳未満は無料) 持参物:弁当、水筒、山歩きができる服装と靴、カメラなど	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降

ネットワークホームページには、各市町などが主催する行事も掲載しています。

～やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪～

「山焼き後の秋吉台とタヌキ穴」を開催します。

地域の自然や人と自然との関わりを知り、参加者相互の交流を深めるために、「自然観察会」を下記により開催します。

と き：平成21年3月22日（日）13:00～15:30

ところ：秋吉台科学博物館（美祢市秋芳町秋吉 0837-62-0640）

内 容：山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪し、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行うとともに、参加者相互の交流を深めるための意見交換会を行ないます。（ガイドは、庫本会長が行います）

定 員：30名（申し込み先着順）

申込先：3月18日（水）までに県自然保護課へ申し込んでください。

参加費：参加費500円（保険代等）

ネットワーク個人会員は250円、団体会員は2名まで250円

その他：飲み物は各自持参。炭がついてもよい服装。



情報コーナー

「県民協働型自然共生手作り事業体験発表会」の開催について

県自然保護課・環境学習推進センターが実施している県民協働型自然共生手づくり事業の体験発表会が開催されます。体験発表会では、採択団体による活動報告のほか、写真家 戸塚 学氏による講演会「楽しいから続けられる、楽しいから受け継がれること」と題した講演会も開催されます。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日 時：3月15日(日) 10:30～15:40(午前講演、午後発表会)

場 所：山口県セミナーパーク 研修室102

定員等：90名(先着順) 参加申込期限：3月13日(金)

申込先：環境学習推進センター (住所、氏名、電話番号を連絡)

(電話 083-987-1110、FAX 083-987-1720、E-mail kankyo.c@hito21.jp)

戸塚 学(とづか がく) 氏プロフィール

1966年 愛知県生まれ

高校3年生の時写真に興味を持ち、幼少の頃から好きだった自然風景や野生の生き物を被写体として撮影する。20歳の時、アカゲラを偶然撮影できたことから、野鳥の撮影にのめり込む。31歳の時、写真家として独立。現在、野鳥などの生き物を含めた環境の撮影をしている。作品は雑誌、機関紙、書籍、カレンダー、コマーシャルなどに多数発表。

著書に「鳥たちは今日も元気に生きています!」などがある。日本野鳥の会会員、西三河野鳥の会会員、NPO法人希少生物研究会会員 <http://homepage2.nifty.com/happybirdsdays/index.html>



体験発表団体の概要(丸ゴシック体はネットワーク会員)

団体名	事業概要
山口県自然観察指導員協議会	県天然記念物ヒゼンマユミ群落自生地の保全
秋吉台パークボランティアの会	秋吉台裸地(歩道)の修復と緑化
榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会	榎野川河口干潟及び源流域(四季の森)の保全
山口山岳会	十種ヶ峰ヤマシャク自生地の保全活動
カキツバタを守る会	二反田ため池の環境整備
YSCエコクラブ	「榎野川野鳥の森」環境整備
琴石水車の里保存会	琴石水車の里の環境整備
NPO法人しぜんとおそびたい	長門市油谷赤屋地区の共生の森づくり
和木町林業研究会	遊歩道の保全と活用及び里山(和みの里)の再生
らんかん高原活性化協議会	らんかん高原の湿性植物群落の保全

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

ご連絡いただいた情報は、情報誌「ニュース」、機関誌「共生」、またはホームページに掲載し、会員のみみなさまに情報として提供します。

〔事務局〕〒753-0811 山口市吉敷上東二丁目4番5-201 田中 浩(090-7971-6843)

〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修(083-933-3060)

E-mail h-tanaka43@nifty.com URL <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>

やまぐち自然共生ニュース

No. 6

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、すばらしい自然環境を後世に伝えていきます。

秋吉台の山焼き -最高のイベント-

秋吉台は、草原の自然公園として、阿蘇山と共に有名だ。日本の自然公園の解説書では、秋吉台の草原は「半自然」となっている。原生林は人の手が加わらない森林だが、草原は自然植生ではなく、人が手を加えて作り出された植生である。とはいっても、秋吉台の草原は人が山を焼くが、あとは自然に放置され、「極相の草原（もうこれ以上変化しない究極の草原）」になっている。極相と言っても、主体は「ネザサ」で、60年とか80年に一度開花結実して枯れる。この前のネザサの開花は昭和45年にあり、ほとんどのネザサは枯れた。このとき、主体はネザサに代わって、チガヤやススキが広がり、草原の様子は一変した。

秋吉台では、毎年、2月の第3日曜日に「山焼き」が行われてきた。しかし、この季節は雨の日が多く、焼けないことが多かった。今年は、2月15日（日）に一発で実施でき、関係者は胸をなでおろした。

山に火が放たれると風にあおられて燃える。パチパチというササのはぜる音が台地に響く。また、草の焼ける匂いが鼻をつき、焼けた草の葉の炭が舞い上がり目に入る。

昔は、田や畑で作物を作るのに草を利用した。草を堆肥にして田に入れると、作物はとてよく実をつけた。だから、農家の人は周囲の山を草原にして、たくさんの堆肥を作った。江戸時代には、秋吉台を「千鞍台」と呼び、草がたくさん取れるところとして知られていた。

秋吉台の草原はいつ頃からできたのか、議論的になっている。奈良の都では、奈良時代には草原が広がり、貴族たちが遊んでいる。その様子は、万葉集に残されている。秋吉台では長登銅山があり、早くから採鉱が始まった。銅を取るにはたくさんの炭を必要としたが、秋吉台が森林であれば炭焼きが行われたことだろう。ひょっとすると、秋吉台は奈良時代から草原になっていたかもしれない。現在、洞窟にある鍾乳石の研究から、台上の草原ができた年代を科学的に探求する研究が九州大学で進められている。どんな結論が出るか、興味深い。



3月の行事予定

3月		行 事 名	場 所 ・ 時 間 等	連 絡 先
1	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
1	日	第59回「講演会」 演題「緑で心のマッサージ」 講師 足立龍次 (足立氏は「画文集 野の花ハイキング」などの本を自費出版され、「周南市緑地公園」の樹木の観察会を指導されたり、植物の絵の個展も開かれるなどなど、多彩な才能に長けた方です。彼のユーモア溢れる楽しい講演をぜひお聞きください)	定員:60名 時間:13:30～16:30 受付は13時から 場所:山口県セミナーパーク 一般研修棟2階の研修室205 参加費:無料 申込期限:2月28日(土)	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降
8	日	秋吉台自然歩道の修復 (雨水の通り道となり表土が流れ壊れた秋吉台自然歩道の修復を行います)	時間:9:00 旧秋吉台管理事務所に集合	秋吉台パークボランティアの会 (0837-62-0640)
15	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
15	日	県民協働型自然共生推進事業 体験発表会 詳細は最終ページ参照	時間:10:30～16:00 場所:山口県セミナーパーク	(財)山口県ひとづくり財団環境学習推進センター (083-987-1110)
22	日	やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪 山焼き後の秋吉台とタヌキ穴 (山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪するとともに、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行います) 詳細は次ページ参照	定員:30名 時間:13:00～15:00 場所:秋吉台科学博物館 参加料:500円(個人会員は250円、団体会員は2人まで250円)	やまぐち自然共生ネットワーク または山口県自然保護課
29	日	自然観察会「県指定天然記念物 ヒゼンマユミ等(下関市蓋井島)」 申込期限:3月25日(水)	定員:28名 時間:7:00に萩市中央公園 駐車場トイレ付近に集合 参加費:3,500円(バス・保険代等)(船賃990円は別払い)	山口県自然観察指導員協議会 第6支部長 永井要明 (090-8240-9785)
29	日	白石山の観察会 (「白石山:540m」は全山に大小の奇岩・巨岩が散在する旧徳地町(山口市)の名勝に指定されていた山で、山頂近くには「白石観世音」を祀った観音岩などが在り、信仰の山でもあります) 申込期限:3月28日(土)	時間:9:30～15:00ぐらい 9:30に山口市徳地掘にある「出雲神社」前に集合 参加費:500円(18歳未満は無料) 持参物:弁当、水筒、山歩きができる服装と靴、カメラなど	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降

ネットワークホームページには、各市町などが主催する行事も掲載しています。

～やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪～

「山焼き後の秋吉台とタヌキ穴」を開催します。

地域の自然や人と自然との関わりを知り、参加者相互の交流を深めるために、「自然観察会」を下記により開催します。

と き：平成21年3月22日（日）13:00～15:30

ところ：秋吉台科学博物館（美祢市秋芳町秋吉 0837-62-0640）

内 容：山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪し、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行うとともに、参加者相互の交流を深めるための意見交換会を行ないます。（ガイドは、庫本会長が行います）

定 員：30名（申し込み先着順）

申込先：3月18日（水）までに県自然保護課へ申し込んでください。

参加費：参加費500円（保険代等）

ネットワーク個人会員は250円、団体会員は2名まで250円

その他：飲み物は各自持参。炭がついてもよい服装。



情報コーナー

「県民協働型自然共生手作り事業体験発表会」の開催について

県自然保護課・環境学習推進センターが実施している県民協働型自然共生手づくり事業の体験発表会が開催されます。体験発表会では、採択団体による活動報告のほか、写真家 戸塚 学氏による講演会「楽しいから続けられる、楽しいから受け継がれること」と題した講演会も開催されます。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日 時：3月15日(日) 10:30～15:40(午前講演、午後発表会)

場 所：山口県セミナーパーク 研修室102

定員等：90名(先着順) 参加申込期限：3月13日(金)

申込先：環境学習推進センター (住所、氏名、電話番号を連絡)

(電話 083-987-1110、FAX 083-987-1720、E-mail kankyo.c@hito21.jp)

戸塚 学(とづか がく) 氏プロフィール

1966年 愛知県生まれ

高校3年生の時写真に興味を持ち、幼少の頃から好きだった自然風景や野生の生き物を被写体として撮影する。20歳の時、アカゲラを偶然撮影できたことから、野鳥の撮影にのめり込む。31歳の時、写真家として独立。現在、野鳥などの生き物を含めた環境の撮影をしている。作品は雑誌、機関紙、書籍、カレンダー、コマーシャルなどに多数発表。

著書に「鳥たちは今日も元気に生きています!」などがある。日本野鳥の会会員、西三河野鳥の会会員、NPO法人希少生物研究会会員 <http://homepage2.nifty.com/happybirdsdays/index.html>



体験発表団体の概要(丸ゴシック体はネットワーク会員)

団体名	事業概要
山口県自然観察指導員協議会	県天然記念物ヒゼンマユミ群落自生地の保全
秋吉台パークボランティアの会	秋吉台裸地(歩道)の修復と緑化
榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会	榎野川河口干潟及び源流域(四季の森)の保全
山口山岳会	十種ヶ峰ヤマシャク自生地の保全活動
カキツバタを守る会	二反田ため池の環境整備
YSCエコクラブ	「榎野川野鳥の森」環境整備
琴石水車の里保存会	琴石水車の里の環境整備
NPO法人しぜんとおそびたい	長門市油谷赤屋地区の共生の森づくり
和木町林業研究会	遊歩道の保全と活用及び里山(和みの里)の再生
らんかん高原活性化協議会	らんかん高原の湿性植物群落の保全

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

ご連絡いただいた情報は、情報誌「ニュース」、機関誌「共生」、またはホームページに掲載し、会員のみみなさまに情報として提供します。

〔事務局〕〒753-0811 山口市吉敷上東二丁目4番5-201 田中 浩(090-7971-6843)

〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修(083-933-3060)

E-mail h-tanaka43@nifty.com URL <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>

やまぐち自然共生ニュース

No. 6

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、すばらしい自然環境を後世に伝えていきます。

秋吉台の山焼き -最高のイベント-

秋吉台は、草原の自然公園として、阿蘇山と共に有名だ。日本の自然公園の解説書では、秋吉台の草原は「半自然」となっている。原生林は人の手が加わらない森林だが、草原は自然植生ではなく、人が手を加えて作り出された植生である。とはいっても、秋吉台の草原は人が山を焼くが、あとは自然に放置され、「極相の草原（もうこれ以上変化しない究極の草原）」になっている。極相と言っても、主体は「ネザサ」で、60年とか80年に一度開花結実して枯れる。この前のネザサの開花は昭和45年にあり、ほとんどのネザサは枯れた。このとき、主体はネザサに代わって、チガヤやススキが広がり、草原の様子は一変した。

秋吉台では、毎年、2月の第3日曜日に「山焼き」が行われてきた。しかし、この季節は雨の日が多く、焼けないことが多かった。今年は、2月15日（日）に一発で実施でき、関係者は胸をなでおろした。

山に火が放たれると風にあおられて燃える。パチパチというササのはぜる音が台地に響く。また、草の焼ける匂いが鼻をつき、焼けた草の葉の炭が舞い上がり目に入る。

昔は、田や畑で作物を作るのに草を利用した。草を堆肥にして田に入れると、作物はとてよく実をつけた。だから、農家の人は周囲の山を草原にして、たくさんの堆肥を作った。江戸時代には、秋吉台を「千鞍台」と呼び、草がたくさん取れるところとして知られていた。

秋吉台の草原はいつ頃からできたのか、議論的になっている。奈良の都では、奈良時代には草原が広がり、貴族たちが遊んでいる。その様子は、万葉集に残されている。秋吉台では長登銅山があり、早くから採鉱が始まった。銅を取るにはたくさんの炭を必要としたが、秋吉台が森林であれば炭焼きが行われたことだろう。ひょっとすると、秋吉台は奈良時代から草原になっていたかもしれない。現在、洞窟にある鍾乳石の研究から、台上の草原ができた年代を科学的に探求する研究が九州大学で進められている。どんな結論が出るか、興味深い。



3月の行事予定

3月		行 事 名	場 所 ・ 時 間 等	連 絡 先
1	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
1	日	第59回「講演会」 演題「緑で心のマッサージ」 講師 足立龍次 (足立氏は「画文集 野の花ハイキング」などの本を自費出版され、「周南市緑地公園」の樹木の観察会を指導されたり、植物の絵の個展も開かれるなどなど、多彩な才能に長けた方です。彼のユーモア溢れる楽しい講演をぜひお聞きください)	定員:60名 時間:13:30～16:30 受付は13時から 場所:山口県セミナーパーク 一般研修棟2階の研修室205 参加費:無料 申込期限:2月28日(土)	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降
8	日	秋吉台自然歩道の修復 (雨水の通り道となり表土が流れ壊れた秋吉台自然歩道の修復を行います)	時間:9:00 旧秋吉台管理事務所に集合	秋吉台パークボランティアの会 (0837-62-0640)
15	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
15	日	県民協働型自然共生推進事業 体験発表会 詳細は最終ページ参照	時間:10:30～16:00 場所:山口県セミナーパーク	(財)山口県ひとづくり財団環境学習推進センター (083-987-1110)
22	日	やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪 山焼き後の秋吉台とタヌキ穴 (山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪するとともに、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行います) 詳細は次ページ参照	定員:30名 時間:13:00～15:00 場所:秋吉台科学博物館 参加料:500円(個人会員は250円、団体会員は2人まで250円)	やまぐち自然共生ネットワーク または山口県自然保護課
29	日	自然観察会「県指定天然記念物 ヒゼンマユミ等(下関市蓋井島)」 申込期限:3月25日(水)	定員:28名 時間:7:00に萩市中央公園 駐車場トイレ付近に集合 参加費:3,500円(バス・保険代等)(船賃990円は別払い)	山口県自然観察指導員協議会 第6支部長 永井要明 (090-8240-9785)
29	日	白石山の観察会 (「白石山:540m」は全山に大小の奇岩・巨岩が散在する旧徳地町(山口市)の名勝に指定されていた山で、山頂近くには「白石観世音」を祀った観音岩などが在り、信仰の山でもあります) 申込期限:3月28日(土)	時間:9:30～15:00ぐらい 9:30に山口市徳地掘にある「出雲神社」前に集合 参加費:500円(18歳未満は無料) 持参物:弁当、水筒、山歩きができる服装と靴、カメラなど	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降

ネットワークホームページには、各市町などが主催する行事も掲載しています。

～やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪～

「山焼き後の秋吉台とタヌキ穴」を開催します。

地域の自然や人と自然との関わりを知り、参加者相互の交流を深めるために、「自然観察会」を下記により開催します。

と き：平成21年3月22日（日）13:00～15:30

ところ：秋吉台科学博物館（美祢市秋芳町秋吉 0837-62-0640）

内 容：山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪し、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行うとともに、参加者相互の交流を深めるための意見交換会を行ないます。（ガイドは、庫本会長が行います）

定 員：30名（申し込み先着順）

申込先：3月18日（水）までに県自然保護課へ申し込んでください。

参加費：参加費500円（保険代等）

ネットワーク個人会員は250円、団体会員は2名まで250円

その他：飲み物は各自持参。炭がついてもよい服装。



情報コーナー

「県民協働型自然共生手作り事業体験発表会」の開催について

県自然保護課・環境学習推進センターが実施している県民協働型自然共生手づくり事業の体験発表会が開催されます。体験発表会では、採択団体による活動報告のほか、写真家 戸塚 学氏による講演会「楽しいから続けられる、楽しいから受け継がれること」と題した講演会も開催されます。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日 時：3月15日(日) 10:30～15:40(午前講演、午後発表会)

場 所：山口県セミナーパーク 研修室102

定員等：90名(先着順) 参加申込期限：3月13日(金)

申込先：環境学習推進センター (住所、氏名、電話番号を連絡)

(電話 083-987-1110、FAX 083-987-1720、E-mail kankyo.c@hito21.jp)

戸塚 学(とづか がく) 氏プロフィール

1966年 愛知県生まれ

高校3年生の時写真に興味を持ち、幼少の頃から好きだった自然風景や野生の生き物を被写体として撮影する。20歳の時、アカゲラを偶然撮影できたことから、野鳥の撮影にのめり込む。31歳の時、写真家として独立。現在、野鳥などの生き物を含めた環境の撮影をしている。作品は雑誌、機関紙、書籍、カレンダー、コマーシャルなどに多数発表。

著書に「鳥たちは今日も元気に生きています!」などがある。日本野鳥の会会員、西三河野鳥の会会員、NPO法人希少生物研究会会員 <http://homepage2.nifty.com/happybirdsdays/index.html>



体験発表団体の概要(丸ゴシック体はネットワーク会員)

団体名	事業概要
山口県自然観察指導員協議会	県天然記念物ヒゼンマユミ群落自生地の保全
秋吉台パークボランティアの会	秋吉台裸地(歩道)の修復と緑化
榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会	榎野川河口干潟及び源流域(四季の森)の保全
山口山岳会	十種ヶ峰ヤマシャク自生地の保全活動
カキツバタを守る会	二反田ため池の環境整備
YSCエコクラブ	「榎野川野鳥の森」環境整備
琴石水車の里保存会	琴石水車の里の環境整備
NPO法人しぜんとあそびたい	長門市油谷赤屋地区の共生の森づくり
和木町林業研究会	遊歩道の保全と活用及び里山(和みの里)の再生
らんかん高原活性化協議会	らんかん高原の湿性植物群落の保全

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

ご連絡いただいた情報は、情報誌「ニュース」、機関誌「共生」、またはホームページに掲載し、会員のみみなさまに情報として提供します。

〔事務局〕〒753-0811 山口市吉敷上東二丁目4番5-201 田中 浩(090-7971-6843)

〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修(083-933-3060)

E-mail h-tanaka43@nifty.com URL <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>

やまぐち自然共生ニュース

No. 6

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、すばらしい自然環境を後世に伝えていきます。

秋吉台の山焼き -最高のイベント-

秋吉台は、草原の自然公園として、阿蘇山と共に有名だ。日本の自然公園の解説書では、秋吉台の草原は「半自然」となっている。原生林は人の手が加わらない森林だが、草原は自然植生ではなく、人が手を加えて作り出された植生である。とはいっても、秋吉台の草原は人が山を焼くが、あとは自然に放置され、「極相の草原（もうこれ以上変化しない究極の草原）」になっている。極相と言っても、主体は「ネザサ」で、60年とか80年に一度開花結実して枯れる。この前のネザサの開花は昭和45年にあり、ほとんどのネザサは枯れた。このとき、主体はネザサに代わって、チガヤやススキが広がり、草原の様子は一変した。

秋吉台では、毎年、2月の第3日曜日に「山焼き」が行われてきた。しかし、この季節は雨の日が多く、焼けないことが多かった。今年は、2月15日（日）に一発で実施でき、関係者は胸をなでおろした。

山に火が放たれると風にあおられて燃える。パチパチというササのはぜる音が台地に響く。また、草の焼ける匂いが鼻をつき、焼けた草の葉の炭が舞い上がり目に入る。

昔は、田や畑で作物を作るのに草を利用した。草を堆肥にして田に入れると、作物はとてよく実をつけた。だから、農家の人は周囲の山を草原にして、たくさんの堆肥を作った。江戸時代には、秋吉台を「千鞍台」と呼び、草がたくさん取れるところとして知られていた。

秋吉台の草原はいつ頃からできたのか、議論的になっている。奈良の都では、奈良時代には草原が広がり、貴族たちが遊んでいる。その様子は、万葉集に残されている。秋吉台では長登銅山があり、早くから採鉱が始まった。銅を取るにはたくさんの炭を必要としたが、秋吉台が森林であれば炭焼きが行われたことだろう。ひょっとすると、秋吉台は奈良時代から草原になっていたかもしれない。現在、洞窟にある鍾乳石の研究から、台上の草原ができた年代を科学的に探求する研究が九州大学で進められている。どんな結論が出るか、興味深い。



3月の行事予定

3月		行事名	場所・時間等	連絡先
1	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
1	日	第59回「講演会」 演題「緑で心のマッサージ」 講師 足立龍次 (足立氏は「画文集 野の花ハイキング」などの本を自費出版され、「周南市緑地公園」の樹木の観察会を指導されたり、植物の絵の個展も開かれるなどなど、多彩な才能に長けた方です。彼のユーモア溢れる楽しい講演をぜひお聞きください)	定員:60名 時間:13:30～16:30 受付は13時から 場所:山口県セミナーパーク 一般研修棟2階の研修室205 参加費:無料 申込期限:2月28日(土)	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降
8	日	秋吉台自然歩道の修復 (雨水の通り道となり表土が流れ壊れた秋吉台自然歩道の修復を行います)	時間:9:00 旧秋吉台管理事務所に集合	秋吉台パークボランティアの会 (0837-62-0640)
15	日	菊ヶ浜を日本一美しくする会清掃日	時間:9:00～ 場所:菊ヶ浜 集合:第1班 田槌商店前 第2班 萩看護学校裏 第3班 市営駐車場浜側	菊ヶ浜を日本一美しくする会 尾崎(0838-22-0261) 小茅(0838-25-5360)
15	日	県民協働型自然共生推進事業 体験発表会 詳細は最終ページ参照	時間:10:30～16:00 場所:山口県セミナーパーク	(財)山口県ひとづくり財団環境学習推進センター (083-987-1110)
22	日	やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪 山焼き後の秋吉台とタヌキ穴 (山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪するとともに、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行います) 詳細は次ページ参照	定員:30名 時間:13:00～15:00 場所:秋吉台科学博物館 参加料:500円(個人会員は250円、団体会員は2人まで250円)	やまぐち自然共生ネットワーク または山口県自然保護課
29	日	自然観察会「県指定天然記念物 ヒゼンマユミ等(下関市蓋井島)」 申込期限:3月25日(水)	定員:28名 時間:7:00に萩市中央公園 駐車場トイレ付近に集合 参加費:3,500円(バス・保険代等)(船賃990円は別払い)	山口県自然観察指導員協議会 第6支部長 永井要明 (090-8240-9785)
29	日	白石山の観察会 (「白石山:540m」は全山に大小の奇岩・巨岩が散在する旧徳地町(山口市)の名勝に指定されていた山で、山頂近くには「白石観世音」を祀った観音岩などが在り、信仰の山でもあります) 申込期限:3月28日(土)	時間:9:30～15:00ぐらい 9:30に山口市徳地掘にある「出雲神社」前に集合 参加費:500円(18歳未満は無料) 持参物:弁当、水筒、山歩きができる服装と靴、カメラなど	山口県自然観察指導員協議会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降

ネットワークホームページには、各市町などが主催する行事も掲載しています。

～やまぐち自然共生ネットワークの自然探訪～

「山焼き後の秋吉台とタヌキ穴」を開催します。

地域の自然や人と自然との関わりを知り、参加者相互の交流を深めるために、「自然観察会」を下記により開催します。

と き：平成21年3月22日（日）13:00～15:30

ところ：秋吉台科学博物館（美祢市秋芳町秋吉 0837-62-0640）

内 容：山焼き後の秋吉台の雄大な自然を探訪し、普段は入ることができない「タヌキ穴」の観察などを行うとともに、参加者相互の交流を深めるための意見交換会を行ないます。（ガイドは、庫本会長が行います）

定 員：30名（申し込み先着順）

申込先：3月18日（水）までに県自然保護課へ申し込んでください。

参加費：参加費500円（保険代等）

ネットワーク個人会員は250円、団体会員は2名まで250円

その他：飲み物は各自持参。炭がついてもよい服装。



情報コーナー

「県民協働型自然共生手作り事業体験発表会」の開催について

県自然保護課・環境学習推進センターが実施している県民協働型自然共生手づくり事業の体験発表会が開催されます。体験発表会では、採択団体による活動報告のほか、写真家 戸塚 学氏による講演会「楽しいから続けられる、楽しいから受け継がれること」と題した講演会も開催されます。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日 時：3月15日(日) 10:30～15:40(午前講演、午後発表会)

場 所：山口県セミナーパーク 研修室102

定員等：90名(先着順) 参加申込期限：3月13日(金)

申込先：環境学習推進センター (住所、氏名、電話番号を連絡)

(電話 083-987-1110、FAX 083-987-1720、E-mail kankyo.c@hito21.jp)

戸塚 学(とづか がく) 氏プロフィール

1966年 愛知県生まれ

高校3年生の時写真に興味を持ち、幼少の頃から好きだった自然風景や野生の生き物を被写体として撮影する。20歳の時、アカゲラを偶然撮影できたことから、野鳥の撮影にのめり込む。31歳の時、写真家として独立。現在、野鳥などの生き物を含めた環境の撮影をしている。作品は雑誌、機関紙、書籍、カレンダー、コマーシャルなどに多数発表。

著書に「鳥たちは今日も元気に生きています!」などがある。日本野鳥の会会員、西三河野鳥の会会員、NPO法人希少生物研究会会員 <http://homepage2.nifty.com/happybirdsdays/index.html>



体験発表団体の概要(丸ゴシック体はネットワーク会員)

団体名	事業概要
山口県自然観察指導員協議会	県天然記念物ヒゼンマユミ群落自生地の保全
秋吉台パークボランティアの会	秋吉台裸地(歩道)の修復と緑化
榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会	榎野川河口干潟及び源流域(四季の森)の保全
山口山岳会	十種ヶ峰ヤマシャク自生地の保全活動
カキツバタを守る会	二反田ため池の環境整備
YSCエコクラブ	「榎野川野鳥の森」環境整備
琴石水車の里保存会	琴石水車の里の環境整備
NPO法人しぜんとあそびたい	長門市油谷赤屋地区の共生の森づくり
和木町林業研究会	遊歩道の保全と活用及び里山(和みの里)の再生
らんかん高原活性化協議会	らんかん高原の湿性植物群落の保全

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

ご連絡いただいた情報は、情報誌「ニュース」、機関誌「共生」、またはホームページに掲載し、会員のみみなさまに情報として提供します。

〔事務局〕〒753-0811 山口市吉敷上東二丁目4番5-201 田中 浩(090-7971-6843)

〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修(083-933-3060)

E-mail h-tanaka43@nifty.com URL <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>